

2023年度（第3期）

事業報告書

特定非営利活動法人フードバンクふなばし

1 事業の成果

(1) 食品ロス削減の推進と地域の活動支援

【食品の受け入れについて】

2023年度の食品の受け入れ量は、34,156キロ（前年比87.8%）となりました。受け入れ量が大きく減少した原因は、多くの企業が食品ロス削減に取り組むなかで寄付量が減少したことです。その一方で食品寄付ボックスに集まる食品は前年度とほぼ同水準でした。

- ① 個人からの直接寄付：4,649キロ（前年比86.3%）
- ② スーパーマーケットやコンビニエンスストアに設置したボックスを通じての寄付：5,950キロ（前年比97.4%）
- ③ 企業・団体からの寄付：食品会社から店頭に並べられなくなった食品、生活協同組合が実施したフードドライブ食品、市や企業の災害備蓄食品の入れ替え時の提供は23,557キロ（前年比85.9%）

上記のほか食品を集める具体的な活動として、市民活動フェアやひがふなフェスタといった市民が開催するイベントに参加してフードドライブを実施したほか、千葉ジェッツやJR東日本と連携してフードドライブを開催しました。イベント会場や試合会場、西船橋駅構内でのフードドライブは、食品を集めるだけでなくフードバンクを知ってもらう機会にもなりました。

食品の受け入れ量を増やすために、次年度に向け寄付ボックスの設置箇所についてスーパーマーケットなどと交渉した結果、2024年度は大幅に設置箇所が増える見込みです。また船橋市内に800ある自治会、町会にも備蓄食品の入れ替え時等に食品を寄付してもらうことを呼びかけました。

【地域への活動支援】

集めた食品を有効的に活用するために地域活動をしている団体への食品の提供を行いました。2023年度は344団体（前年比115.4%）へ14,407キロの食品を提供しました。現在船橋市内の子ども食堂は30か所を超え、その多くがフードバンクふなばしを活用しています。米や調味料、お菓子などを子ども食堂に提供することでその活動を下支えしました。さらに児童養護施設、母子生活支援施設、自立援助ホーム、夜間中学校、定時制高校、生活困窮者支援団体等多くの団体へお菓子や食品を提供しその活動を食の面から支援しました。

【食品受領実績】

	件数	重量(Kg)
個人	256	4,649
きゃろくんボックス	—	5,950
団体・企業	210	23,557
合計	466	34,156

長く続いたコロナウイルスの感染拡大後、食品や生活必需品や光熱費の値上がりは、ひとり親家庭だけでなく、多くの人々に影響を及ぼしています。2023年度に関係機関と連携して支援した家庭および個人は1,601件となり前年度比111.6%となりました。

【個人家庭への配送支援】

船橋市の相談窓口から支援依頼があった家庭への食品配送支援は2023年度は737家庭でした。父子家庭への支援、20歳代前半の若い世代への支援、在宅介護支援センターや地域包括支援センターからの支援依頼が増えたことが特徴的でした。円滑な連携が行えるように船橋市こども家庭支援課、家庭児童相談室、保健と福祉の総合相談窓口さーくる、4保健センター（中央、東部、西部、北部）の担当者と連絡会を持ち、支援活動の課題の洗い出しを行いました。またふらっと船橋（基幹相談支援センター）とも連絡会を持ち、支援対象を高齢者や障がいのある方々にも緩やかに拡大しました。

【パントリーピックアップ】

毎月金杉と習志野の2会場で予約制にて行う、ひとり親家庭を対象とした食品配布会（パントリーピックアップ）の参加は864家庭となり、前年比121%と大幅に増えました。船橋市母子父子支援センターで開催している習志野会場では、薬円台地区社会福祉協議会の方々に食品の運び込みや運営にご協力いただきました。野菜や卵も地域の方から寄付を受けて配布しています。地域に支えられて成り立っています。

【食品支援実績】

	件数	重量(Kg)
子育て家庭	737	11,961
パントリーピックアップ	864	9,294
子ども食堂等子育て支援団体	344	14,407
合計	1,945	35,662

(3) 食品ロス削減に向けた啓発活動・広報活動

6月には船橋市北部清掃工場余熱利用施設メグスパにて、フードドライブ学習会を開催しました。10月の食品ロス削減月間には、船橋市内の全55小学校・26中学校の児童・生徒および教職員に向けて『食品ロスってなに？』のチラシ約53,000枚を配布しました。食品ロスを身近なことととらえてもらい、何ができるかを自ら考えるきっかけとなることが目的です。チラシを配布したことで、市内の小学校、中学校に出向いての出張授業にも取り組みました。特に小学生を対象とした授業ではクイズや実演も取り入れて、フードバンクの活動を分かりやすく伝えるための工夫をし、児童から多く感想が寄せられました。また授業を受けた中学生はその後校内でフードドライブを開催し、集まった食品を寄付してくれました。次世代を担う子ども達が、食品ロスやフードバンクの活動を自分ごととして考えてくれるような機会を作ることも私たちフードバンクの役割であると感じました。11月には千葉経済短期大学での講義を行った他、市内のロータリークラブや船橋商工会議所青年部でも講話をしました。

その他フードバンクふなばしの活動紹介リーフレットを様々なイベントで配布したほか、特定郵便局と連携して局内に配架してもらいました。また広報紙『かなすぎレター』6,7合併号、8号、9号を作成して、支援者、関係機関、利用団体に配布し日頃の活動報告を行いました。

(4) 県内フードバンクとの連携

3

2023年8月に千葉県内で活動している8つのフードバンク団体で千葉県フードバンク連絡会を設立しました。県内におけるフードバンク活動を推進し、市民・企業・行政等多くの人々と協働し、食品ロスを削減し貧困をなくす支援を行うとともに、持続可能な共生社会の発展に寄与することを目的としています。連絡会や各団体の視察会も開催し、情報と食品の共有が活発化することが期待できます。

書式第12号（法第28条関係）

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業報告用

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲および人数
フードバンク事業	① 個人からの持ち込み郵送寄付 ② 食品寄付ボックスを通じての寄付 ③ 企業・団体からの寄付 ④ 船橋市や千葉ジェッツふなばし、JR西船橋駅と連携したフードドライブ ⑤ 施設・団体への食品提供	2023.4.1 ~ 2024.3.31	①金杉事務所 ②市内外スーパーコンビニ 9か所 ③金杉事務所 ④船橋市公民館 26か所。船橋アリーナ。JR西船橋駅。メグスパ。 ⑤金杉事務所	① 2名 ② 5名 ③ 2名 ④ 10名 ⑤ 4名	①～④船橋市内の企業・市民 ⑤船橋市内外の子ども食堂利用者、母子生活支援施設利用者、自立援助ホーム利用者、児童養護施設利用者、県立生浜高校生徒、県立船橋北高校生徒、県立大宮高校生徒、夜間中学ふなら～ん生徒等。 年間 344 団体
食のセーフティネット事業	① 配送による支援活動 ② ひとり親を対象とした食品支援会	2023.4.1 ~ 2024.3.31	①金杉事務所 ②金杉事務所および船橋市母子・父子支援センター	① 10名 ② 10名	① 船橋市内の在住の生活困窮者 737 家庭 ② 主に船橋市在住の児童扶養手当時受給中のひとり親 864 家庭
啓発活動・広報活動	① 食品ロス削減啓発チラシ配布 ② 市内小学校、中学校、県内の短期大学、市内のロータリークラブでの講話 ③ 団体活動紹介三つ折りリーフレットおよびかなすぎレターの配布	① 2023.10.1 ~ 10.31 ② 2023.4.1 ~ 2024.3.31	①船橋市内の全小学校、中学校 ②船橋市内および千葉県内 ③主に船橋市内	①4名 ②2名 ③5名	①船橋市内の児童、生徒、教職員約 53,000 人 ②金杉台小学校の2年生、前原小学校3年生、行田中学校3年生、千葉経済大学短期大学学生約 100 名、船橋東ロータリークラブ会員約 30 名、船橋商工会議所青年部約 30 名 ③三つ折りリーフレット配布約 5,000 人、かなすぎレター配布約 2,400 人

(2) その他の事業

なし